



2025 年度事業計画

一般社団法人沼津青年会議所

基本理念

会員一人ひとりが誠をもって公に貢献する

基本方針

1. ひとづくりによってまちづくり及び組織力強化に繋げる
2. 会員拡大によって将来の基礎づくりに繋げる
3. 静岡ブロック協議会の活動を支援する
4. 組織・機構のあり方について議論をし、変革の可能性を見出す

2025 年度 沼津 JC スローガン

熱くなれ 公のために

2025 年度 理事長所信

理事長 小澤 隆

【はじめに】

戦後、主権回復から2年後の1954年に、沼津青年会議所は設立されました。設立趣意書の冒頭には「我々青年は、敗戦後の荒廃せる祖国の再建について、その責任の重且つ大なる事を痛感し、」という言葉が綴られています。私たちの先輩は大空襲の被害の惨状を目にし、復興を願うのみならず「自分たち青年にこそ、この惨状に立ち向かう使命があるのだ」と、勇気と志を持って立ち上がった様子が伝わってきます。社会課題に真正面から立ち向かうその思いをもう一度受け継いでいきたいと強く思います。

沼津青年会議所の設立から71年目となる現在では、新たな社会課題が浮き彫りになっています。沼津市においては、少子高齢化や人口減少が重要な課題となっています。これにより、社会保障の維持や労働力の確保が困難となるだけでなく、テクノロジーや設備投資だけでは解決できない地域経済循環の鈍化も深刻な問題です。その結果、最終的には、市民がいかに豊かに暮らすことができるかという、明確な解答が存在しない複雑な課題に直面することになります。申すまでもなく、都市計画や商工業、農林水産業、教育など、多岐にわたる課題も存在しており、防災分野に関しては毎年のように市内で水害があり、津波に関しては避難が困難と言われているエリアも市内に存在します。このような様々な課題を認識することは、ピンチをチャンスに変えて地域の魅力を創造する、あるいは強靱な地域へと発展するための第一歩です。課題を掘り起こし、その対処として先進的な取り組みやユニークな取り組みを行なっていけば、その結果は地域の魅力となったり、あるいは機運を高め、郷土愛を育む機会にもなりうるのではないのでしょうか。全市的に社会課題に立ち向かっていくためには、官民あらゆる立場での努力が必要ですが、青年会議所は其中でも先駆けとして活動する、その誇りを持った組織です。

現在の沼津青年会議所は多くの会員を擁しているわけではありませんが、内部を強固にし、大きな志を胸に、社会課題を深く認識しつつ、明るい豊かな社会を作るために邁進して参ります。

【ひとづくりによるまちづくり】

まちづくりを長期的に行っていくためには、ひとづくりが必須課題です。

多くの社会課題が存在する中で、その解決に使命感を持ち、果敢に挑む人材の存在が不可欠です。しかし、戦後教育やマクロ経済の変化等に伴い、個人主義が進行し、加えて現代ではデジタルネイティブの人の割合も増え、インターネットの普及により即時性や効率性を重視し、個を尊重する傾向が強まっています。このような時代において、社会のリーダーを育成し、多様な社会課題を乗り越えるためには、時代や世代を超えて共感できる価値観を持

51 つことが求められます。

52 社会の安定と持続可能性を維持するためには、市民や周辺住民に対して、「他者のために
53 行動する」という価値観や、家族、地域、国家、さらには地球全体に貢献するという「公」
54 の視点を持つことが必要です。そうした理念や哲学を育む事業を推進して参ります。

55 加えて、青年会議所活動においても同様に社会に対して問題意識を持つ事、並びにそれを
56 解決していこうとする姿勢が肝要です。これらの事業を会員の資質向上にも大いに繋げて
57 参ります。

59 **【会員拡大と広報】**

60 沼津青年会議所が活力を維持し発展させ、社会に対して影響力を発揮していくために
61 は、会員拡大が必要です。現在、会員の数は充分とはいえませんが、人数が多ければ、今
62 よりももっと事業を充実させる事ができます。また、青年会議所で積極的に活動すること
63 は、社会人・経済人として大きく成長できる可能性があり、地域のリーダーを育成するこ
64 とにも繋がります。多くの方々と接点を作り、積極的にアプローチを行って参ります。

65 広報や情報発信は、信頼と共感を築くための重要な手段です。SNS 発信や WEB サイトで
66 の発信を継続し、沼津青年会議所の活動を理解していただけるよう努めて参ります。ま
67 た、対外事業においては多様な方法による広報を検討し、多くの方々へのリーチを狙いま
68 す。それぞれの事業においてはフィードバックを収集し、次の事業並びに次年度以降へ繋
69 ぐべきものは何かを検証して参ります。

71 **【渉外について】**

72 様々な LOM 外事業においては、それぞれの場で気付きや学びの機会があります。出向者
73 を支援し、またそれぞれの意義や魅力を会員に理解していただき、多くの会員が参加するよ
74 う務めて参ります。また、民主主義をはじめ我が国と多くの価値観を共有する台湾には、姉
75 妹 JC である龍山国際青年商會が存在し、1983 年より 40 年以上にわたり姉妹交流を続けて
76 います。今年度は我々が龍山国際青年商會を訪ねる機会があります。多くの会員とともに台
77 湾を訪問し、その絆をさらに強固にして参ります。

79 **【静岡ブロック協議会の支援】**

80 本年は沼津青年会議所が静岡ブロック協議会の主管を務めます。それに伴い、多くの会議
81 等が沼津市内でも行われることになり、県内 19LOM の会員が多く参加されることになりま
82 す。会議設営に関する事務等を適切に行い、おもてなしの心を持って静岡ブロック協議会を
83 支援するとともに、出向者を支えて参ります。

85 **【前進し続けるための組織運営姿勢】**

86 沼津青年会議所は、その活動の中に様々な伝統があります。また、事務局の業務を全て

87 会員が行っております。従来の運営方法や活動のあり方を頑なに守るだけではなく、時代に
88 即した柔軟な発想で組織運営方法を自由に議論した上で、変えるべきは変え、守るべきは守
89 ることが肝要です。必要に応じて改革を検討する機会を作ります。問題や課題を整理し、長
90 期的な目線で組織をより良く変革していける土台を作って参ります。

91 92 【最後に】

93 JCI Creed には” service to humanity is the best work of life” とあります。会員
94 諸君におかれましては、この言葉の通り、公に貢献することを喜びとして1年間の活動を
95 やり抜いて参りましょう。

96 スローガンには「熱くなれ」という表現を致しました。熱意は、モチベーションの源泉
97 であり、努力を継続する基盤であり、他者を引き付け巻き込む力となり、挑戦意欲と創造
98 力を推進し、友情と繋がりを生むものであります。社会問題の理不尽さに怒りを持つこと
99 もいいでしょう。同志との友情を喜ぶのもいいでしょう。まちづくりに対して幸福を感じ
100 ることもいいでしょう。組み立てた理論を大きく推進するのはそのような熱意です。した
101 がって、多くのことに熱意を持っていただきたいと思います。

102 また、同じくスローガンには「公」（おおやけ）という言葉を使いました。「公」の持つ
103 意味は国家や自治体のような枠組みにとどまらず、市民が作るコミュニティや、家族のよ
104 うな共同体も公といえるのではないかと考えます。さらに、長期的な視点、次世代への責
105 任感もこの一文字に思いを込めました。己のためだけではなく、誰かのため、何かのため
106 に行動することの価値を共有し、皆で歩んで参ります。

まちづくり・研修委員会事業計画(案)

委員長	小林英太郎
副委員長	加藤佳史
予算	3,500,000円

＜基本方針＞

沼津地域の住民に利他の価値観を共有する事業を行い、社会課題に取り組むきっかけを創出することで、まちの発展に貢献する。

会員がさらに社会課題に挑戦するリーダーへ成長するために、資質向上を図る事業を行う。

＜事業計画＞

- 1.第1例会の企画運営(5月・7月・10月・11月)
- 2.社会課題の調査・研究に関する業務
- 3.会員の資質向上に関する業務
- 4.新入会員育成セミナーに関する業務
- 5.JCサミットIZU会議に関する業務
- 6.静岡ブロック協議会の活動支援
- 7.組織改善に関する調査・研究

＜活動予定表＞

[illegible]

渉外・会員委員会事業計画(案)

露 木 辰 暢
若 林 愛 弓
386,000円

＜基本方針＞

正会員が各種大会、会議、セミナー等に円滑に参加できるようLOM内外の連携を支援する。

組織力向上の一助となるよう会員相互の絆を深める。

来訪してくださる他LOMの方達に対しておもてなしの心を持って対応する。

＜事業計画＞

- 1.第1例会の企画運営（3月・4月・6月・9月・12月）
- 2.例会セレモニーの準備並びに受付業務
- 3.LOM外の各種大会及びセミナー等に関する登録業務
- 4.出向者のフォロー
- 5.龍山国際青年商會との連絡調整窓口
- 6.運営規程に定められた業務
- 7.静岡ブロック協議会の活動支援
- 8.組織改善に関する調査研究

＜活動予定表＞

[illegible]

総務・財務委員会事業計画(案)

委員長 松田翔太
副委員長 後藤譲治
予算 360,000円

＜基本方針＞

沿津青年会議所の運営や活動が円滑に進むように、定款・諸規程を遵守し、慣例や組織の課題に柔軟且つ真摯に向き合いながら活動を推進する。

＜事業計画＞

- 1.第1例会の企画運営(1月・2月・8月)
- 2.総会の設営、運営(2月・8月・12月)
- 3.財務審査
- 4.理事会の設営・運営並びに議事録作成・管理
- 5.会員名簿の管理
- 6.年次報告書の作成
- 7.事務局の運営・維持・管理
- 8.シニアクラブに関する業務
- 9.公式LINEの管理
- 10.運営規程並びに会計規程、その他規程に定められた業務
- 11.静岡ブロック協議会の活動支援
- 12.組織改善に関する調査・研究

＜活動予定表＞

[illegible]

拡大・広報担当事業計画(案)

担当理事 小野 大輔
予 算 60.000円

＜基本方針＞

沼津青年会議所が地域により信頼され、共感を生むための広報を目指し、スピード感のある広報活動を行う。
多くの方との接点を作り、正会員を積極的に巻き込んだ拡大活動を行う。

＜事業計画＞

1. 会員拡大に関する業務
2. 新入会員オリエンテーションの企画・設営
3. ゲスト及び新入会員のフォロー
4. 例会・事業・セミナー等の活動記録・広報に関する業務
5. WEBサイト・SNSの管理
6. 静岡ブロック協議会の活動支援
7. 組織改善に関する調査・研究

＜活動予定表＞

[illegible]

出 向 者

◎東海地区協議会 出向者

静岡ブロック協議会担当副会長

大 川 皓 平

◎静岡ブロック協議会 出向者

会 長

大 川 皓 平

事 務 局 長

長 田 達 郎

ア カ デ ミ ー 委 員 会 副 委 員 長

堀 江 直 樹

加 藤 佳 史

渡 邊 真 太 郎

国 際 交 流 委 員 会

杉 澤 一 平

鈴 木 佑 貴

ビ ジ ネ ス 委 員 会

後 藤 譲 治

JC ブ ラ ン デ ィ ン グ 委 員 会

若 林 愛 弓

◎行政等委任委員

エフエムぬまづ株式会社 取締役	理 事 長
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 副会長	理 事 長
沼津市市民憲章推進協議会	理 事 長
沼津市社会福祉協議会 評議員	直前理事長
沼津市特別職報酬等審議会 委員	直前理事長
沼津市地域福祉計画策定懇話会	直前理事長
沼津市地域福祉活動計画策定委員会	直前理事長
沼津夏まつり実行委員会	小 野 大 輔
沼津市明るい選挙推進協議会	小 野 大 輔
沼津市「社会を明るくする運動」実施委員会	小 野 大 輔
燦々ぬまづ推進委員会	杉 澤 一 平
沼津市緑化推進協議会	杉 澤 一 平
沼津市暴力追放推進協議会 監事	杉 澤 一 平
沼津国際交流協会 理事	杉 澤 一 平
エフエムぬまづ番組審議委員会	専 務 理 事
公益財団法人沼津振興公社 理事	専 務 理 事
沼津市夏まつり実行委員会灯ろう流し部会長	専 務 理 事
鉄道高架化とまちづくりを推進する会 事務局	専 務 理 事

2025年度例会担当表

月	総 会		第1例会	
1			8 (水)	総務・財務委員会 新年賀詞交歓会
2	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会	7 (金)	総務・財務委員会 定時総会
3			8 (土)	渉外・会員委員会 東部9JC合同公式訪問例会
4			8 (火)	渉外・会員委員会 沼津JCデー
5			8 (木)	まちづくり・研修委員会
6			6 (金)	渉外・会員委員会
7			25 (金)	まちづくり・研修委員会 狩野川灯ろう流し
8	8 (火)	総務・財務委員会 定時総会	8 (金)	総務・財務委員会 定時総会
9			7 (日)	渉外・会員委員会 第58回静岡ブロック大会(御殿場)
10			8 (水)	まちづくり・研修委員会 新入会員育成セミナー最終会議
11			23 (日)	まちづくり・研修委員会
12	4 (木)	総務・財務委員会 定時総会	8 (月)	渉外・会員委員会 卒業式・卒業生を送る会

定例会議・委員会日

会合日		会 合 名	時 間	場 所
第1水曜日		正副理事長会議	19:30 ～ 21:30	JCルーム
第3木曜日		理事会	19:30 ～ 21:30	JCルーム
8日		第1例会		
各月末日		財務審査	19:00 ～ 21:00	JCルーム
定例会議日	22日	総務・財務委員会	19:00 ～ 21:00	JCルーム
	第2金曜日	渉外・会員委員会	19:00 ～ 21:00	
	第4木曜日	まちづくり・研修委員会	20:00 ～ 22:00	

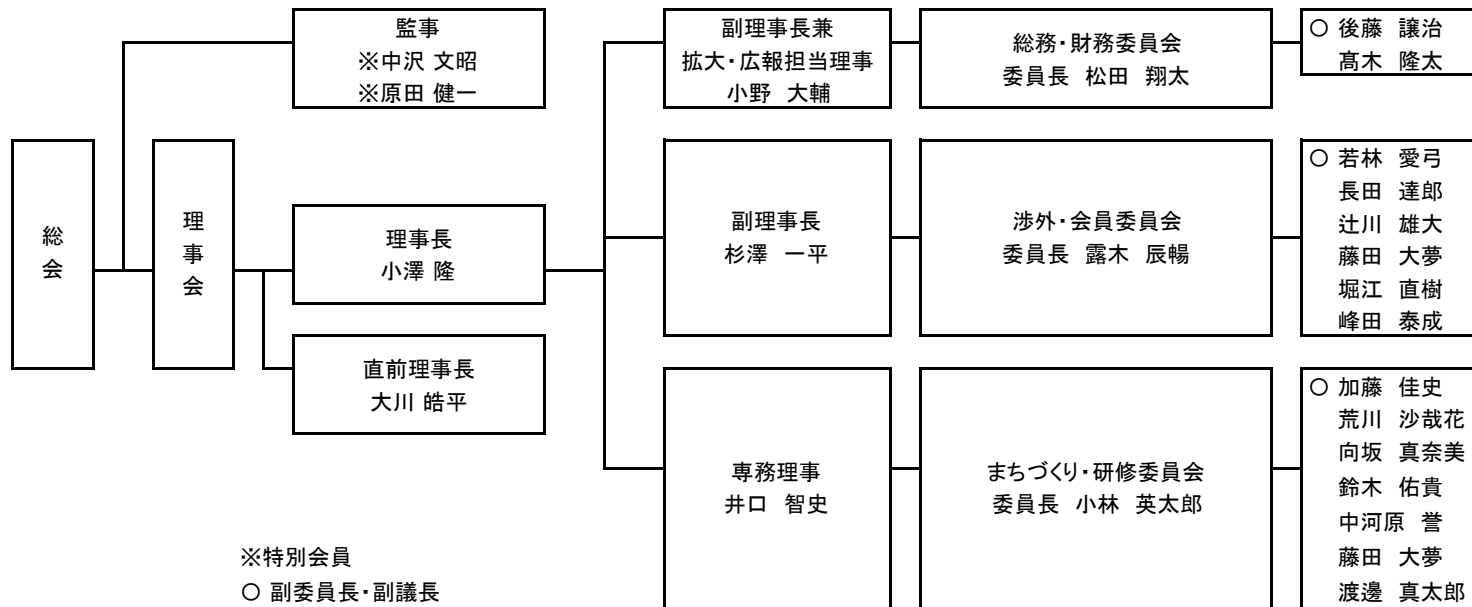
担当委員会 委員会開催日	JCルーム清掃日	委員会閉会后
--------------	----------	--------

2025年度 公式日程

	JCI・日本JC	東海地区	静岡ブロック	記念式典	例会等	理事会
1月	23日(木)～26日(日) 京都会議 25日(土) 総会 (京都)	24日(金) 第1回会員会議所会議 (京都)	19日(日) 第1回役員会議 (沼津)		8日(水) 第1例会 新年賀詞交歓会	16日(木)
2月			9日(日) 第1回会員会議所会議 第1回出向者合同会議 (熱海)		7日(金) 第1例会 定時総会	20日(木)
3月	22日(土) 総会 (東京)		2日(日) 第2回役員会議 (沼津) 16日(日) 第2回会員会議所会議 (沼津)		8日(土) 第1例会 東部9JC合同公式訪問例会 (三島)	20日(木)
4月			27日(日) 第3回役員会議 (裾野)		8日(火) 第1例会 沼津JCデー	17日(木)
5月			11日(日) 第3回会員会議所会議 (裾野)	浜名湖JC 18日(日) 50周年記念式典	8日(木) 第1例会	15日(木)
6月	12日(木)～15日(日) JCI ASPAC (モンゴル ウランバートル)		8日(日) 第4回役員会議 (沼津) 28日(土) 第4回会員会議所会議 (富士)	静岡JC 15日(日) 20周年記念式典 島田JC 未定 60周年記念式典	6日(金) 第1例会	19日(木)
7月	19日(土)～20日(日) サマーコンファレンス (横浜)	5日(土) 第2回会員会議所会議 (半田)	27日(日) 第5回役員会議 (袋井)		25日(金) 第1例会 狩野川灯ろう流し	17日(木)
8月		23日(土) 東海コンファレンス (半田)			8日(金) 第1例会 定時総会	21日(木)
9月			6日(土) 第5回会員会議所会議 (御殿場) 7日(日) 第58回静岡ブロック大会 (御殿場)	焼津JC 20日(土) 55周年記念式典	7日(日) 第1例会 第58回静岡ブロック大会 (御殿場)	18日(木)
10月	9日(木)～12日(日) 全国大会 10日(金) 総会 (佐賀)		4日(土) 第6回役員会議 (沼津) 19日(日) 第6回会員会議所会議 第2回出向者合同会議 (浜松)		8日(水) 第1例会 新入会員育成セミナー最終会議	16日(木)
11月	2日(日)～9日(日) JCI世界会議 (チュニジア チュニス)	25日(火) 第3回会員会議所会議 (名古屋)	24日(月) 第7回役員会議 (沼津)		23日(日) 第1例会	20日(木)
12月			9日(火) 第7回会員会議所会議 (Zoom)		4日(木) 定時総会 8日(月) 第1例会 卒業式・卒業生を送る会	18日(木)

一般社団法人沼津青年会議所

2025年度 組織図



特 別 会 員

59	故 宇野 紳七郎 (03年永眠)	故 岡田 剛武 (19年永眠)	一場 道彦 岩崎 英一 近藤 剛	佐藤 直毅 庄司 邦夫 外 信之	加藤 功一 白壁 圭己 高橋 裕一行	室伏 誠 10 井草 雅彦 小笹 真也 故 川口 浩一 (19年永眠)
61	故 野田 修 (15年永眠)	佐藤 徳太郎 (22年永眠)	酒井 吉彦 牧野 正明 関原 規由	田中 治之 牧野 栄一郎 山口 和一	吉野 聖一 平野 裕一 渡辺 周	芹澤 剛 原田 浩一 松山 一哉
62	故 高橋 明 (15年永眠)	故 佐藤 亘弘 (07年永眠)	堤 正喜 長澤 芳明 故 久松 繁 (99年永眠)	山田 和彦 井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)	02 石渡 慎一 小出 雄志 近藤 浩一 齋藤 一臣 齋藤 隆司 庄司 泰孝 鈴木 章喜 中江 喜和 服部 喜和 平山 智美 松下 紀一 宮坂 知亮 村山 宜司	米山 健
63	故 山内 益次郎 (06年永眠)	故 平山 義人 (98年永眠)	山田 憲市 88 石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠)	岡本 隆行 塩崎 享一 島本 祐史 鈴木 伯明 鈴木 泰博 水口 隆太 米山 明德	11 金子 恭子 軍司 芳孝 小早川 幸磁 故 榊原 優子 (21年永眠)	二保 延行
67	故 中山 欽司 (94年永眠)	故 近藤 安敏 (16年永眠)	木村 保成 栗田 満 向坂 義次 庄司 一洋 杉山 裕將 高橋 靖 長橋 靖 日吉 照郎	96 石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹	12 種田 善一 小平 賢一 菅沼 俊介 諏訪部 稔 半田 健治 渡邊 勝也	
68	友森 寛	杉山 実 故 名取 賢吉 (17年永眠)	故 本多 均 (13年永眠)	97 石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 長谷川 康雄 濱道 知 桜井 喜一郎 原 俊範 廣瀬 進一郎 藤田 昇 故 松下 方文 (18年永眠)	03 池田 宏明 伊藤 隆太 大村 英彰 奥村 泰宏 小野 博文 小野 元章 加藤 俊道 金子 博賢 川口 正樹 國武 英一郎 後藤 誠 清水 直人 鈴木 直人 故 吉川 直人 (17年永眠)	13 小山 弘道 諏訪部 剛志 高木 恵市 橋 泰正 山田 奈帆美 米元 孝一
69	水口 昌夫	真島 秀行	赤堀 肇紀 故 居山 直行 (14年永眠)	森田 州治 山口 和也	14 勝又 康充 柴田 常有 曾布川 麻紀子 多久島 正邦	
71	故 大井 一郎 (16年永眠)	秋山 芳生 小川 義次 影山 恒義 故 桑原 史雄 (96年永眠)	故 高村 光治 (02年永眠)	99 金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)	04 故 青木 秀実 (23年永眠)	15 池田 高士 加藤 明子 川口 真澄 児島 佳代 杉澤 佳人 園田 勝 十八公 浄滋 長島 玲美 宮下 秀人
72	故 後藤 全弘 (19年永眠)	今井 俊之 諏訪部 恭一 持田 真幸	80 故 石井 種生 (16年永眠)	90 芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	故 佐藤 浩人 (17年永眠)	16 遠藤 啓太 大村 智紀 岡田 貴幸 勝侯 孝明 木村 友一 鈴木 一範 武田 智善 土田 智保 宮内 昌弘 村松 充拓 森下 剛嗣
73	上田 雅義 故 植松 清高 (13年永眠)	小林 健次郎 白鳥 篤 故 南谷 直美 (19年永眠)	81 故 伊藤 豪俊 (09年永眠)	故 鈴木 啓司 (23年永眠)	鈴木 一 名取 正純 増山 敬一 宮澤 英紀 渡邊 聡	17 海野 雅貴 佐藤 将行 佐野 雅文 野原 維仁 八木 航一
74	故 市川 厚 (23年永眠)	大木 一男 故 金井 敬策 (08年永眠)	82 芦川 稔 小笠原 一夫 金刺 勝 杉山 勲 宮沢 健二 村松 佳雄	故 高橋 新一 (07年永眠)	91 板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	18 天野 健太郎 野小 好之 上 哲也 木村 昌宏 後藤 裕良 長橋 謙介 中村
75	故 大川 順康 (10年永眠)	故 杉本 節生 (22年永眠)	83 故 内野 鉄紀 (07年永眠)	92 岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	19 伊藤 康広 植松 豊守 木村 直史 小林 孝文 神原 健一 白壁 剛久 鈴木 克実 高橋 基 常峯 幸 松本 優紀子 三須 王左武
76	故 池田 雅博 (22年永眠)	故 立木 栄一 (07年永眠)	84 金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠)	故 江本 宗昭 (21年永眠)	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	05 飯田 太志 大石 将勝 金澤 智幸 工藤 俊彦 栗原 卓也 杉山 雅樹 清谷 登 露木 浩 山口 育男
77	故 宇野 紳七郎 (03年永眠)	故 早崎 恒治 (11年永眠)	85 宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 故 土屋 照夫 (24年永眠)	故 安田 政義 (24年永眠)	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	06 井出 尚武 大城 一真 岡田 貴之 原 政彦 平野 正裕 前田 泰広
78	故 中山 欽司 (94年永眠)	故 北条 利郎 (10年永眠)	86 金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠)	故 江本 宗昭 (21年永眠)	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	07 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
79	故 大井 一郎 (16年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	87 故 浅見 正昭 (13年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	10 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
80	故 石井 種生 (16年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	88 石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	11 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
81	故 伊藤 豪俊 (09年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	89 赤堀 肇紀 故 居山 直行 (14年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	12 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
82	芦川 稔 小笠原 一夫 金刺 勝 杉山 勲 宮沢 健二 村松 佳雄	故 市川 治男 (88年永眠)	90 芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	13 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
83	故 内野 鉄紀 (07年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	91 板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	14 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
84	金崎 明弘 故 城所 延芳 (10年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	92 岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	15 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
85	宇野 統彦 杉山 宏幸 鈴木 敏 辻 進 故 土屋 照夫 (24年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	93 故 石原 正和 (18年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	16 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
86	榊原 進 故 佐々木 浩男 (16年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	94 綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 山形 晋一	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	17 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
87	故 浅見 正昭 (13年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	95 井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	18 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
88	石川 利郎 植松 哲 故 長田 豊久 (11年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	96 石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	19 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
89	赤堀 肇紀 故 居山 直行 (14年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	97 石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 長谷川 康雄 濱道 知 桜井 喜一郎 原 俊範 廣瀬 進一郎 藤田 昇 故 松下 方文 (18年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	20 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
90	芦川 豊 故 稲木 祥雄 (12年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	98 金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	21 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
91	板井 義文 佐川 康夫 勸山 光明 高村 誠 土佐谷 和貴 山下 光彦	故 市川 治男 (88年永眠)	99 故 秋山 佳彦 (17年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	22 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
92	岩下 龍雄 故 植松 郁男 (03年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	00 井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 孝哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 厳一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	23 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
93	故 石原 正和 (18年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	01 市川 浩康 植松 清仁 小野 弘人	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	24 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
94	綾部 恵市 石川 秀雄 江藤 晃好 大橋 英司 山形 晋一	故 市川 治男 (88年永眠)	02 石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	25 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
95	井草 基之 故 岩崎 一弘 (13年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	03 池田 宏明 伊藤 隆太 大村 英彰 奥村 泰宏 小野 博文 小野 元章 加藤 俊道 金子 博賢 川口 正樹 國武 英一郎 後藤 誠 清水 直人 鈴木 直人 故 吉川 直人 (17年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	26 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
96	石井 裕 遠藤 利彦 佐々木 敏祐 杉山 由博 鈴木 延孝 鈴木 正之 松井 泰樹	故 市川 治男 (88年永眠)	04 故 青木 秀実 (23年永眠)	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	27 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
97	石川 雄一郎 井村 和弘 尾和 康男 影島 山弘 加藤 修一 栗田 恵市 長谷川 康雄 濱道 知 桜井 喜一郎 原 俊範 廣瀬 進一郎 藤田 昇 故 松下 方文 (18年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	05 飯田 太志 大石 将勝 金澤 智幸 工藤 俊彦 栗原 卓也 杉山 雅樹 清谷 登 露木 浩 山口 育男	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	28 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
98	金澤 清文 上 精一郎 故 近藤 恒二郎 (01年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	06 井出 尚武 大城 一真 岡田 貴之 原 政彦 平野 正裕 前田 泰広	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	29 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
99	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	故 市川 治男 (88年永眠)	07 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	30 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
00	井口 清 大野 哲広 大場 公嘉 岡元 貴宏 柏木 剛示 木村 幸男 小林 龍司 鈴木 俊史 鈴木 孝哲 芹沢 一幸 竹内 純子 徳田 和人 土井 宣博 中野 幸浩 野秋 和弘 服部 厳一郎 服部 隆利 福島 洋一郎 横山 政遵	故 市川 治男 (88年永眠)	08 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	31 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅
01	市川 浩康 植松 清仁 小野 弘人	故 市川 治男 (88年永眠)	09 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅	後藤 健	故 秋山 佳彦 (17年永眠)	32 伊藤 謙 居山 哲也 岩井 茂樹 小畑 秀明 倉田 裕之 原川 宣与 藤島 宜弘 山下 和信 渡辺 迅

入会年度年齢表

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	生年 (年齢)	卒業 人数
向坂							小澤						加藤			85 (40)	3
										若林			荒川 井口 鈴木	後藤		86 (39)	5
						太川							杉澤			87 (38)	2
						峰田				辻川			渡邊			88 (37)	3
																89 (36)	0
						高木						長田	小林			90 (35)	3
															藤田	91 (34)	1
									小野							92 (33)	1
										堀江						93 (32)	1
																94 (31)	0
															中河原	95 (30)	1
																96 (29)	0
													松田			97 (28)	1
													露木			98 (27)	1

※アンダーバーは早生まれ